

グアテマラ内政・外交(2009年2月)

平成21年3月

在グアテマラ日本国大使館

1. 概要

内政面では、3日、リベラ内務省元顧問殺害事件の担当検事で証拠隠滅等の容疑が掛けられているマトウス元検事が当局に出頭したものの、保釈金による釈放措置が決定し当局に対する批判が高まった。10日、コロン大統領が、CICIG の活動に対する支持及び活動期間延長の意向を表明した。

外交面では、コロン大統領がキューバを公式訪問した際(15 日～18 日)、フィデル・カストロ国家評議会前議長への叙勲を行ったこと等について一部から強い反発が示された。5日、米国政府との間で組織犯罪取締りを目的とした「メリダ・イニシアティブ」合意への署名が行われた。

2. 内政

(1)マトウス元検事の出頭・釈放関連

(イ)3日、ビクトル・リベラ内務省元顧問殺害事件(2008 年 4 月 7 日発生)の担当検事で、同事件捜査における証拠隠滅等の容疑が掛けられているアルバロ・マトウス元検事が司法当局に出頭した。同日、第七刑事裁判所はマトウス元検事に対し、1 万 5 千ケツアル(約 2 千ドル)の保釈金による釈放措置を決定した。

(ロ)4日、カストレサーナ CICIG(グアテマラにおける無処罰問題対策委員会)代表は、出頭したマトウス元検事が保釈金の支払いによる保釈決定を受けたことについて、「検察側は CICIG との合同捜査の際、マトウス元検事に対しては、捜査妨害等計4つの罪状で立件することに合意していたが、その後、CICIG に通報することなく2つの容疑について罪状を撤回していた。検察のこの決定は検察とCICIG の合同捜査結果(本年 1 月 29 日)に一致しないものであり、ベラスケス検事総長に対し罪状撤回の見直しを要請した。」と述べた。

(2)治安政策関連

(イ)4日、人権擁護官事務所は、全国レベルで国内各層の指導者に対し実施した調査結果として、現在の国民の最大の懸念が犯罪の多発であることが明らかになった旨発表した。

(ロ)13日、大統領、国会議長、最高裁長官及び検察長官は、治安と司法に関する国民合意を形成するための、一般犯罪、組織犯罪及び無処罰問題対策のための活動方針を協議する会合を行った。アレホス国会議長は、国会の役割は、司法制度改善を目指した法令の策定及び改正であるとし、ヒメネス国家治安審議会議長は、政府は国家文民警察(PNC)改革や文民情報局の設置などの機構改革を継続する予定であるとした。

(3) CICIG関連動向

(イ) 10日、コロン大統領は、カストレサーナ CICIG 代表との会合において CICIG の活動に対する支持を表明した。コロン大統領は更に、国連事務総長に対し CICIG の活動期間延長(2008 年 9 月から 2 年間)を要請する予定であるとした。

(ロ) 25日、カストレサーナ CICIG 代表は国連本部において CICIG の活動報告を行った。カストレサーナ代表は、CICIG の 18 ヶ月間に亘る活動によりグアテマラ国内で一定の進展があったとした。CICIG の活動期間延長についてカストレサーナ代表は、国連及びグアテマラ政府双方の決定事項であるとしつつ、グアテマラ国内での組織犯罪の活動状況に鑑み2年間の延長が望ましいと考えると述べた。

(ハ) 14日、カストレサーナ CICIG 代表とゴンサレス UNICEF 当地事務所長の間で、児童に対する犯罪の無処罰問題対策における協力協定への署名が行われた。カストレサーナ CICIG 代表は、誘拐や強盗、婦女暴行や人身売買について最も被害を受けているのが子供達で、同時に無処罰の状態で放置されているとした。

(4) ポルティージョ元大統領公金横領容疑関連

12日、大統領在職中の公金 1 億 2 千万ケツアル(約 1500 万ドル相当)横領容疑が掛けられているポルティージョ元大統領の弁護側は、同容疑に関する 4 件の不服申し立てを第一審裁判所及び憲法裁判所に対し行った。一方、CICIG は大統領在職中の公金の扱いについて新たな問題が確認されたとして、同大統領に対し新たに一件立件する予定である旨表明した。

3. 治安情勢関連

(1) 麻薬組織「ロス・セタス」構成員の逮捕

17日、イサバル県において、メキシコの麻薬組織ゴルフ・カルテルの武装グループである「ロス・セタス」の構成員と見られる 6 名が逮捕された。検察庁及び国家文民警察(PNC)は、これら 6 名は、2008 年末に発生したウエウエテナンゴ県での 17 名殺害事件、サカパ県での 2 件の大量殺害事件などに関与している「ロス・セタス」に属していることが確認されたとした。

(2) 中米議会議員殺害事件関連

24日、当国司法当局は、2007 年2月に発生したエルサルバドル選出中米議会議員殺害事件の容疑者としてロベルト・シルバ元エルサルバドル国会議員に対する逮捕状を発出した。

4. 外交

(1) コロン大統領のキューバ訪問

(イ) 15日から18日、コロン大統領はキューバを公式訪問し、ラウル・カストロ国家評議会議長との会談、アラルコン人民権力全国議会議長等との会談を行った。同訪問には、ロダス外相及びグアテマラ経済界関係者が同行した。同地でコロン大統領は、ラウル・カストロ議長を通じフィデル・

カストロ前評議会議長に対するケツアル勲章の授与を行ったほか、ハバナ大学での講演等も行った。

(ロ)コロン大統領の今次キューバ訪問に際しては、フィデル・カストロ前評議会議長への叙勲に不満を表明したグアテマラ経済界関係者が同行を取り止めたこと、及び、ハバナ大学で行った講演でコロン大統領が、「(1961 年の米国によるピッグス湾攻撃に際してグアテマラ領土が利用された点について)キューバ侵攻準備のためにグアテマラ領土が利用されたことをキューバに対しお詫びする」と発言したことにつき、「グ」国内でのコンセンサスを得た上での表明ではなかったとして一部で強い反発を引き起こしたこと等に関心が集まった。

(2)対米関係

(イ)メリダ・イニシアティブ関連

(a)2日、当国太平洋海軍基地(エスクイントラ県)において、James Staviridis 米国南方軍司令官及びマクファーランド在グアテマラ米国大使よりコロン大統領及びバレンスエラ国防相に対し、米国政府による麻薬取締り等を目的とする高速小型船3隻及び夜間用照準器20台の供与が行われた(同機材供与は「メリダ・イニシアティブ」枠組み合意に含まれるもの)。

(b)5日、ガンダラ内務大臣及びマクファーランド当地米国大使は、中米地域における組織犯罪取締り支援を目的とした「メリダ・イニシアティブ」合意への署名を行った。同イニシアティブにおける米国の当国向け支援規模は年間16百万ドルであり、ガンダラ内相は、一回目の拠出3.6百万ドルについては国家文民警察(PNC)の要員訓練へ向けられる予定であるとした。

(ロ)米務省による世界人権報告書発表

25日、米務省は世界人権報告書を発表し、グアテマラについては「深刻な問題がある」とした上で、治安当局による国民に対する越権行為が継続していると指摘した。